

『明るい社会とは』

多久市立東原庠舎中央校 9年 津^つ藤^{どう}瑞^{みず}希^き

日本は平和だ。テレビで海外の戦争が取り上げられたとき、凄惨な事件が起こったとき常にこの言葉が飛び交っている気がする。本当にそうなのか？絶対安全と言えるのか？この作文を書くにあたって、改めて真剣に考えることができた。

社会の歴史の授業で、「第二次世界大戦以降、大きな争いは起こっていない。」と習ったことがある。しかし、まわりを見てみると、いじめ、虐待、自殺・・・はっきり言うと暗い事であふれている。こんなことが起こっているのに、「日本は平和。」と胸を張って言えるだろうか。いいや、言えない。では、その暗い事の原因とはいったい何なのか。自分は、自分のことだけしか頭に無いことが主な原因なのではないかと思う。欲しいと思ったら他人から物を取り、それによって命をうばうことさえある。言いすぎだ、と感じることもあるかも知れないが、本当にこんなことがあった事件もある。現実なのだ。しかも、これに関心なことも原因の一つである。テレビのニュース、新聞を見て知り、自分の事と少しも思わない。つまり他人事のようにその出来事をとらえているからこそ、次から次に同じような事が起こるのである。自分も昔は「へー、こんな事件があったんだー。」という風に聞いただけで心にとめないことが多々あった。

では、どのようにすれば、社会を明るくすることができるのだろうか。自分は、「興味を持つこと」ではないかと感じる。なぜならば、例えば他人に興味を持

ち、自分の方から積極的にコミュニケーションを取ることでお互いを分かりあい、親しくなり、いじめがなくなっていく。また、あるニュースに興味を持つことで、それを調べたり、そのことについて考えたりすることができる。その中で良い意味での考え方の違い、理解や対策を見つけ、結果、トラブルや事件が減ると考えたからである。

やはり日本だけでなく世界中で暗い事は起こっている。特に銃社会のアメリカなどではそれが激化していると考えても良い。今一度銃の規則を初め、法律、ルールがある理由を考えてみてほしい。そして、色んなことに興味を持ってまわりのことを知ってほしい。きっと、光であふれているはずだ。だから、この文章を読んだみなさんからでも、この事を他人事ととらえず、自分から他の人に広めていこう。そうすれば、日本は正真正銘平和と言える。そして「日本は平和」だけではなく、「世界が平和」になれば良いと、自分は心から願っている。